

## 第4学年3組 音楽科学習指導案

平成24年10月26日（金）第2校時

三郷市立戸ヶ崎小学校 萩原 加奈子

### 1 題材名 いろいろな音色を感じ取ろう

### 2 題材について

#### (1) 学習指導要領との関係

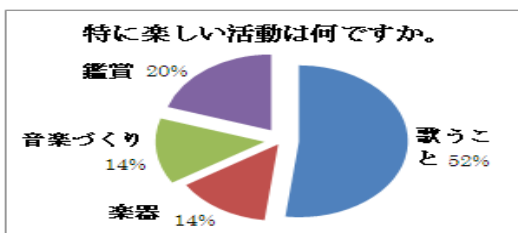
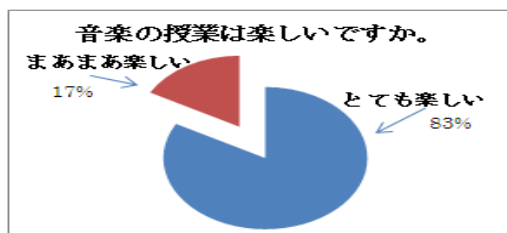
本題材は、学習指導要領A表現 歌唱ア、エ、器楽イ、ウ、エ、音楽づくりア及び、B鑑賞 ア、イ、ウに関連させて指導していく。

いろいろな楽器の特徴や音色の違いを感じ取りながら、音の組合わせを工夫して演奏したり、それらを生かして自分の思いや意図に合った表現ができる楽しさを味わうことをねらいとしている。

#### (2) 題材にかかわる児童の実態

本学級の児童は、活動的であり、音楽の授業にも楽しく取り組んでいる。事前のアンケート（対象児童29名）からも音楽の授業が「とても楽しい」と回答した児童が83%（24名）であり、「まあまあ楽しい」も合わせると100%になる。理由として、「できるようになると嬉しいから」「みんなと音を合わせると気持ちがいいから」という理由が多くあった。「音楽の授業で特に楽しい活動」については、歌唱が52%（15名）、器楽が14%（4名）、音楽づくりが14%（4名）、鑑賞が20%（6名）という結果であった。楽器演奏は、特に「リコーダーで失敗したら嫌だ」という不安を挙げた児童がほとんどで、音楽づくりについては「音符がいっぱいで迷う、音の組合わせが難しい。」と考えている児童がいることがわかった。しかしながら、「音楽の授業でもっとじょうずになりたい活動」については、34%（10名）の児童が楽器演奏（特にリコーダー）を挙げており、わずかながらではあるが、10%（3名）が音楽づくりを挙げている。読譜については、基礎的な事項を継続的に学習活動に取り入れたことで抵抗感が薄れ、ほぼ全員が音符を見て階名を書いたり歌ったりすることができるようになった。しかし、リズムについては、まだ一人で読み取ることが難しい児童もいる。

本題材をきっかけとして、音楽づくりの活動のおもしろさに気付かせ、楽器演奏につなげることも可能ではないかと考える。「活動することの楽しさ」を「音楽を表現する楽しさ」につなげていきたい。



### (3) 本題材における指導

本題材は、音を出す素材を発見したり音の出し方を工夫したりする自由な音づくりから、自分たちの思いや意図に合った音づくりや音の組合わせを工夫していく。さらに、音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにすることをねらいとしている。音楽を構成する様々な要素の中から「音色」に焦点を当て、音を集めたり友達と一緒にアンサンブルを楽しんだりするなど、児童の聴く力や表現する力を養うのにふさわしい題材である。

児童は、これまでに身近な楽器や身の回りの物から出てくる音の違いや素材との関連に気付いて表現を工夫する活動を進めてきた。3年生ではいろいろな打楽器などの音色の違いを生かしながら「まほうをかける音」という自分たちの思いや意図を課題にして、これを音で表現する活動を楽しんだ。このような体験の積み重ねから、児童は音色に関心をもち、聴いたり表現したりする感性が育ってきたと思われる。本題材ではこれを更に発展させ、奏法を工夫することによって音色が変化することに気付き、音色そのものを味わう活動に取り組んでいく。打楽器や身の回りの物を使っていろいろな音をつくったり、見つけた音を集めて自分たちの思いや意図に合った音の組合わせを演奏したりしていくことにより、児童自ら音楽表現にかかわり、さらに音楽を楽しむことができると考える。

指導に当たっては、音の特徴を感じ取れるよう聴き合う活動を取り入れていく。また、自分たちの思いや意図に合った音探しを多く経験させ、表現する楽しさを味わわせたい。そして、一人一人の発想や感性・意欲を大切にして音の組合わせを楽しむために、グループ学習を取り入れる。これらの活動を通して、一つの音にこだわりを持てる児童を育てていきたい。また、自分達のリズム音楽をつくることの楽しさや一つの曲を最後までつくりあげる成就感や達成感も味わえるようにしたい。

### 3 題材の目標

- (1) 音の特徴や音色の違いに関心をもち、聴いたり表現したりする学習に進んで取り組むようにする。【音楽への関心・意欲・態度】
- (2) 音の特徴や音色の違いを感じ取り、自分たちの思いや意図をもって楽器の材質や音の重ね方、組合わせを工夫するようにする。【音楽表現の創意工夫】
- (3) 音の特徴や音色の違いを生かして楽器を演奏しようとする。【音楽表現の技能】
- (4) 楽器の音色や違い、美しさを感じ取り、それを言葉や体の動きなどで表して、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴くようにする。【鑑賞の能力】

### 4 教材

○管弦楽組曲 第2番から「バディネリ」

バッハ作曲

フルートのやわらかくて優しい音色の曲である。主旋律は、細かな動きを軽やかに表現しており、フルートの演奏のよさを味わえる。木管楽器の仲間であるが、現在の金属でできている実物を見て、疑問をもつ児童も多いと予想される。そこで、昔は木で作られていたという楽器の材質に注目して楽器への理解を深めさせたい。

## ○「クラリネット ポルカ」

ポーランド民謡

広い音域を表現するクラリネットの特徴を感じ取って聴くことができ、旋律の反復が多い、2拍子の踊りの曲である。曲に合わせて指揮のまねをしたり、手拍子を打って軽快なリズムのよさも感じることができる。クラリネットが鳴っている部分と鳴っていない部分が明確に分かれているので、なめらかなクラリネットの音が分かりやすい。

「バディネリ」と比較して聴くことで、音色の違いに気付き、それぞれの楽器のもつ固有の音の美しさを味わえるようにする。また、同じ木管楽器でも音色の感じ方が違い、それぞれの楽器の特徴が楽曲の特徴と結びついていることに気付かせたい。

## ◎「音のカーニバル」

芙龍明子 作詞 橋本祥路 作曲

打楽器や身の回りの物でつくった音を使って、歌と一緒に楽しく表現することができる教材である。旋律とリズムは掛け合ったり重なり合ったりしており、リズムに乗って歌っていると、自然に手拍子や打楽器を打ちたくなるような歌とリズムが一体化している曲である。リズムパートを表現するために、音色を考えて組み合わせを工夫すると、音色の対比や変化のおもしろさを味わうことができる。

## ◎音づくり

いろいろな音を鳴らして聴き比べ、皮、金属、木などの材質による音色の違いを感じ取りながら、音の組み合わせ方を工夫する活動を取り入れる。また、材質だけでなく、演奏の仕方によっても音色が変化するので、打つ場所や打ち方を変え、聴き比べながら音づくりをすることをねらう。

## ◎リズムアンサンブル

リズムは、手拍子や足踏みなど体から出される音でも十分に楽しむことができ、さらに、それを楽器で演奏すれば、音色や組み合わせ方の工夫もできる。本教材では、4分の4拍子1小節のリズムパターンを6つ提示し、手拍子で十分に慣れたところで、2小節のリズムパターンを考えさせる。音づくりで楽器の音の特徴や音色の違いを学習したので、リズムに合う音を探し、音の組み合わせ方を工夫しながら演奏を楽しむようにすることをねらう。また、最終的には全てのリズムをつなげ、一つの音楽をつくるという成就感も味わえる教材である。

## 5 本題材で主に扱う〔共通事項〕と学習活動のかかわり

| 〔共通事項〕ア      | 音 色                                                                                                                                   | 強 弱                                                                                   |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 〔共通事項〕イ      |                                                                                                                                       | p, mf                                                                                 |
| 具体的な<br>学習活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルートとクラリネットの音色の違いに気付く。</li> <li>・楽器の材質や演奏の仕方による音色の違いに気付く、リズムに合った楽器の選び方を工夫しながら演奏する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器を鳴らす順や人数、音の強弱を工夫して、リズムアンサンブルをする。</li> </ul> |

## 6 評価規準（題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準）

|                 | ア 音楽への関心・意欲・態度                                                                                            | イ 音楽表現の創意工夫                                                                                         | ウ 音楽表現の技能                                                                      | エ 鑑賞の能力                                   |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 題材の評価規準         | 音の特徴や違いに関心を持ち、聴いたり表現したりする学習に進んで取り組んでいる。                                                                   | 音の特徴や違いを感じ取り、楽器の材質や組み合わせを工夫し、自分たちの思いや意図をもっている。                                                      | 音の特徴や違いを生かして楽器を演奏したり、さまざまな発想をもって表現している。                                        | 音色の違いや美しさを感じ取り、曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。      |
| 学習活動における具体的評価規準 | ① 楽器の音の特徴や違いに関心を持ち、進んで聴こうとしている。<br>② 歌とリズムの掛け合いや重なりを楽しんで表現しようとしている。<br>③ 楽器の音に関心を持ち、音を探したり、演奏したりしようとしている。 | ① 音の特徴や違いを感じ取り、それを生かして、自分たちの思いや意図に合う音づくりを工夫している。<br>② リズムの特徴を生かした音の重ね方や組み合わせ方を工夫し、自分たちの思いや意図を持っている。 | ① 拍の流れを感じ取り、互いに音を聴き合いながら、同じ拍子感で歌ったり、リズム打ちをしたりしている。<br>② 音の組み合わせや奏法を工夫して演奏している。 | ○ 木管楽器の音色の特徴や美しさを感じ取り、言葉や体の動きで表しながら聴いている。 |
| 1               | ①                                                                                                         |                                                                                                     |                                                                                |                                           |
| 2               |                                                                                                           |                                                                                                     |                                                                                | ○                                         |
| 3               | ①                                                                                                         |                                                                                                     | ①                                                                              |                                           |
| 4               | ②                                                                                                         |                                                                                                     | ②                                                                              |                                           |
| 5               | ③                                                                                                         | ①                                                                                                   |                                                                                |                                           |
| 6               |                                                                                                           | ②                                                                                                   | ①                                                                              |                                           |
| ⑦               | ③                                                                                                         | ①                                                                                                   |                                                                                |                                           |

## 7 指導と評価の計画（7時間扱い）

| 時                              | ○学習内容 ・主な学習活動                                                        | ・指導上の留意点 ☆評価規準 評価方法【】                                                                                                                         |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <第一次> ○フルートとクラリネットの音色の美しさを味わう。 |                                                                      |                                                                                                                                               |
| 1                              | ○ 2つの曲を聴き、曲想や違いを感じ取って聴く。                                             | ・絵譜を参考に主な旋律を聴き取るとともに、楽器の音色を意識させる。<br>☆音の特徴や違いに関心を持ち、進んで聴こうとしている。<br>【ア① 鑑賞中の様子の観察・発言内容】<br>☆木管楽器の音色の特徴や美しさを感じ取って聴いている。<br>【エ 鑑賞中の様子の観察・鑑賞ノート】 |
| 2                              | ・曲を聴き、楽器の音色に関心をもつ。<br>・木管楽器の由来、仕組みを知る。<br>・各楽器の音色や特徴について、感じたことをまとめる。 |                                                                                                                                               |

| <p>&lt; 第二次 &gt;    ○ 組合わせた音を入れて演奏する。</p> <p>                  ○ 音の特徴を感じ取る。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3                                                                               | <p>○ 「音のカーニバル」を歌詞唱し、曲想にふさわしい表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拍の流れにのって歌う。</li> <li>・ 拍の流れに合わせ、リズムを打つ。</li> <li>・ 歌と手拍子を合わせて演奏する。</li> </ul>                                                                                                           | <p>☆歌とリズムの掛け合いや重なりを楽しんで表現しようとしている。</p> <p>【ア① 鑑賞中の様子の観察】</p> <p>☆拍の流れを感じ取り、聴き合いながら歌ったりリズム打ちしたりしている。</p> <p>【ウ① 演奏の聴取】</p>             |
| 4                                                                               | <p>○ 材質による音色や響きの違いを感じる。</p>                                                                                                                                                                                                                                               | <p>☆様々な音を聴き比べ、音の特徴や違いを感じ取って表現している。</p> <p>【ア② 活動観察】</p>                                                                               |
| 5                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽器の材質の違い（皮、金属、木）に分類する。</li> <li>・ 演奏の仕方を工夫しながら、音色の違いを感じ取る。</li> </ul> <p>○ グループで、どんな「音のカーニバル」にしたいか思いや意図をもって演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思いや意図に合う音（楽器）の組合わせを考える。</li> <li>・ 鳴らす順番を決め、歌と合わせて演奏する。</li> </ul> | <p>☆音の組合わせや奏法を工夫し、演奏している。</p> <p>【ウ② 演奏の聴取】</p>                                                                                       |
| 6                                                                               | <p>○ 4人のグループでリズムをつくり、思いや意図をもって音を重ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6つのパターンのリズム模倣をする。</li> <li>・ リズムパターンを2つ組み合わせ、8拍のリズムを即興的につくる。</li> <li>・ 演奏する回数を変え、重なりや強弱などの組合わせを工夫する。</li> </ul>                                                                        | <p>☆楽器の音に関心をもち、音を探したり、演奏したりしようとしている。</p> <p>【ア③ 活動観察】</p> <p>☆様々な音の特徴や違いを感じ取り、それを生かして、自分たちの思いや意図に合う音づくりを工夫している。</p> <p>【イ① 演奏の聴取】</p> |
| ⑦                                                                               | <p>○ 音のちがいや重なり方を感じ取り、音の組み合わせを工夫して演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人ずつ重ねていく。</li> <li>・ 全員で演奏する。</li> </ul> <p>○ 全体で、リズムアンサンブルをする。</p>                                                                                                                  | <p>☆リズムの特徴を生かした音の組合わせ方を工夫し、自分たちの思いや意図を持っている。</p> <p>【イ② 演奏の聴取】</p> <p>☆拍の流れを感じ取り、互いの音を聴き合いながら、リズム打ちをしている。</p> <p>【ウ 活動の様子 演奏の聴取】</p>  |
|                                                                                 | <p>○ 音のちがいや重なり方を感じ取り、音の組み合わせを工夫して演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人ずつ重ねていく。</li> <li>・ 全員で演奏する。</li> </ul> <p>○ 全体で、リズムアンサンブルをする。</p>                                                                                                                  | <p>☆楽器の音に関心をもち、音を探したり、演奏しようとしている。</p> <p>【ア 活動観察】</p> <p>☆音の特徴や違いを感じ取り、それを生かして、自分たちの思いや意図に合う音づくりを工夫している。</p> <p>【イ 演奏の聴取】</p>         |

## 8 本時の学習（7/7）

### (1) 目標

- 楽器や身の回りの音色の違いに関心をもち、進んで学習に取り組むようにする。
- 音色の違いや重なり方を感じ取り、音の組合わせを工夫して演奏する。

### (2) 展開

| 学習内容 ・ 学習活動                                                                    | ・ 指導上の留意点 ☆ 具体の評価規準【評価方法】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 時間 |
|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1 ・ 体をほぐし、校歌<br>今月の歌を歌う。                                                       | ・ 拍の流れにのってのびのび歌うことで学習への意欲を高め、<br>みんなでつくり上げる雰囲気づくりをする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 5  |
| 2 本時の学習課題を<br>知る。                                                              | 音の組合わせを工夫して、リズムアンサンブルをしよう。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 3  |
| 3 前時につくった2<br>小節のリズムを確認する。<br>・ 6つのリズムパターン<br>を手拍子で打つ。<br>・ グループで重奏し、<br>練習する。 | ・ 2小節のリズムをグループで聴き合いながら確認させる。<br><br>＜始まり方のルール＞<br>その1：最初から全員で始める。<br>その2：Aさんだけで始まり、他の人は途中から入る。<br>その3：AさんとBさんが最初に入って、その他の人は<br>途中から入る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 10 |
| 4 リズムに合った楽<br>器を選び、思いや意図<br>をもってアンサンブル<br>をする。                                 | ・ グループで話し合い、リズムに合った材質の楽器を選ぶよう<br>助言する。<br>・ 自分たちの思いや意図に合ったという点を意識させながら、楽<br>器や組合わせを変更してよいことを伝え工夫させる。<br>・ 始まりや終わりには、互いに見合ったり、呼吸やタイミング<br>をそろえるよう助言する。<br><br>☆楽器や身の回りの音色の違いに関心をもち、進んで学習<br>に取り組もうとしている。<br>○関心・意欲・態度【活動の様子、演奏の聴取】<br><br>○「おおむね満足できる（B）」と判断できる具体的な状況例<br>様々な楽器の音に関心をもち、リズムアンサンブルに取り<br>組もうとしている。<br><br>○「十分満足できる（A）」と判断できる具体的な状況例<br>様々な楽器の音に興味をもって音色の違いを確かめたり、<br>音を探すために一つの楽器にこだわって叩き方や叩く<br>場所、打つバチを変えて工夫したりしている。見つけた音<br>がリズムに合うよう、楽器の組合わせに気を付けながら、<br>リズムアンサンブルに取り組もうとしている。 | 12 |

|                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |          |
|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <p>5 音色の違いや重なり方を感じ取り、グループごとにリズムアンサンブルを発表する。</p>          | <p>・音の重ね方がわかりやすいよう、並び方も工夫させる。</p> <p>☆音色の違いや重なり方を感じ取り、自分たちの思いや意図に合う音の組合わせを工夫して演奏しようとしている。</p> <p>○音楽表現の創意工夫【演奏の聴取】</p> <p>○「おおむね満足できる（B）」と判断できる具体的な状況例<br/>リズムの組合わせによる音の響き方の違いを感じ取り、リズムに合った楽器の組合わせを工夫しようとしている。</p> <p>○「十分満足できる（A）」と判断できる具体的な状況例<br/>友達の演奏を聴いて音の響きを合わせたり、音の強弱や楽器の鳴らし方の順番を考え、グループ全体のリズムに合った楽器の組合わせを工夫したりしようとしている。</p> | <p>9</p> |
| <p>6 クラス全体でリズムアンサンブルをする。</p> <p>7 本時のまとめをし、次時の予告を聞く。</p> | <p>・全グループのリズムをつなげて演奏し、一つの作品づくりへと発展させる。</p> <p>・つなげる際は、教師が基本的なリズムパターンを演奏する。</p> <p>・本時の活動の成果を賞賛し、次時への意欲付けを図る。</p>                                                                                                                                                                                                                     | <p>3</p> |

< 資料 >

## リズムアンサンブルをしよう

「音楽」の意味      4年 組(      )



♪1 リズムパターンから2つ選んで、2小節のリズムをつくりましょう。

4

4

(拍) ● ● ● ● ● ● ● ●

このリズムに合う楽器は・・・(      )

その理由は、からです。

♪2 リズムに合った楽器を選び、音の組合わせを工夫して演奏しましょう。

| 演奏する人 | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 終わり                                                                                           |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | ○   |     |     |     | (全員で)<br> |
|       |     |     |     |     |                                                                                               |
|       |     |     |     |     |                                                                                               |
|       |     |     |     |     |                                                                                               |

♪3 リズムアンサンブルをふり取り、工夫したことや感じたことを書きましょう。

|                   |  |
|-------------------|--|
| リズムを進んで考えることができた  |  |
| リズムに合う楽器を選んで演奏できた |  |